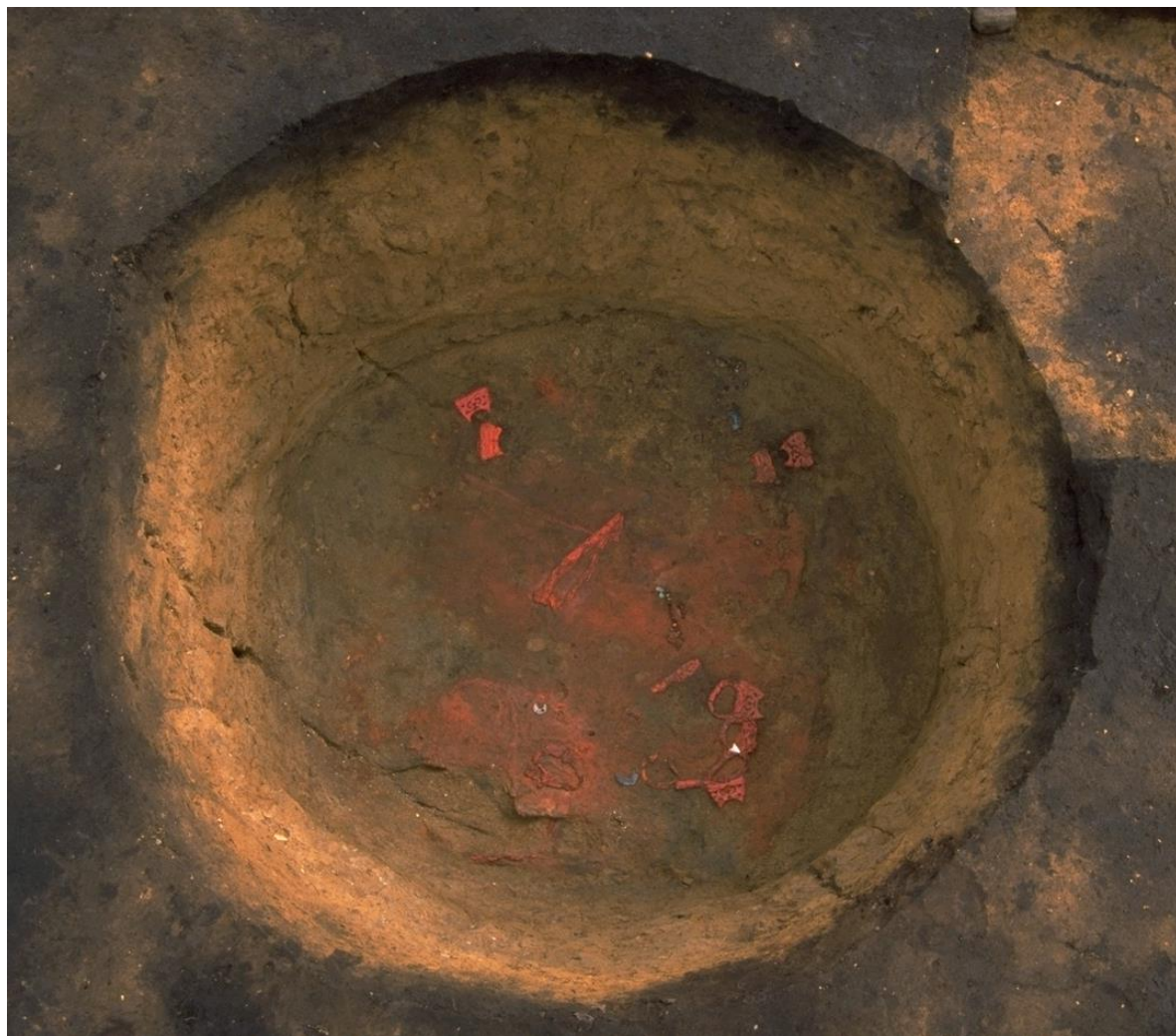


史跡カリンバ遺跡整備基本計画書(改訂版)



令和6年3月

北海道恵庭市教育委員会

序

恵庭市は、道都札幌市と空の玄関千歳市の間に位置し、「花・水・緑 人がつながり夢ふくらむまち えにわ」を将来都市像としてまちづくりに取り組んでいます。

平成 11 年、旧カリンバ川流域のカリンバ遺跡（当時はカリンバ 3 遺跡）で行われた発掘調査で驚きの発見がありました。2 人以上の遺体を埋葬した大型の合葬墓 4 基の中から、90 点以上の漆塗り装身具が見つかりました。その質と量は、当時日本全国で見つかっていた漆塗り装身具を凌駕するもので、各種マスコミでも大きく取り上げられ高い評価を得ました。

カリンバ遺跡は、平成 17 年に国の史跡に指定され、大型の合葬墓から見つかった多種多様な漆塗り装身具は、平成 18 年に国の重要文化財に指定されました。恵庭市は、全国的にも貴重な史跡カリンバ遺跡を良好な状態で後世に引き継ぎ、史跡と重要文化財の保護と活用を目的とした整備計画推進のため、平成 20 年度に「史跡カリンバ遺跡整備基本構想」、平成 23 年度に「史跡カリンバ遺跡保存管理計画」、平成 27 年度には「史跡カリンバ遺跡整備基本計画」を策定しました。そして令和 4 年度は史跡カリンバ遺跡整備検討委員会を設置し、整備を具体的に進めるために基本計画の見直しを進め、本改訂版の刊行に至りました。今後はこの改訂版を基に史跡整備を実施する所存です。

最後になりますが、本改訂版の作成にご尽力いただきました史跡カリンバ遺跡整備検討委員の皆様をはじめ、文化庁並びに北海道教育委員会に厚くお礼申し上げます。とりわけ、本改訂版の作成中にお亡くなりになられた山田悟郎氏におかれましては、長きにわたり副委員長の重責を担っていただきました。生前の献身的なご尽力に深く感謝するとともに、ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。

令和 6 年 3 月

恵庭市教育委員会
教育長 岩淵 隆

例 言

1. 本書は、北海道恵庭市黄金南5丁目12-2及び黄金中央5丁目216-7ほかに所在する史跡カリンバ遺跡の整備基本計画の改訂版である。
2. 本書は、平成27年度に史跡カリンバ遺跡整備基本計画策定委員会において策定した計画を令和4・5年度に開催した史跡カリンバ遺跡整備検討委員会において改訂したものである。
3. 本計画改訂にあたっては、史跡カリンバ遺跡整備検討委員会を組織し、その指導の下に行った。委員及びオブザーバーは以下のとおりである。なお、所属は令和5年度のものである。

委員長	高瀬 克範（北海道大学大学院文学研究院考古学研究室教授）
副委員長	山田 悟郎（元北海道開拓記念館学芸部長）
委員	加藤 裕明（北海道文教大学こども発達学科教授）
	西村 聡（北海道大学大学院工学研究院 土木工学部門地盤物性学研究室教授）
	吉田 恵介（札幌市立大学名誉教授）
	脇谷草一郎（奈良文化財研究所埋蔵文化財センター 保存修復科学研究室長）
オブザーバー	中井 将胤（文化庁文化資源活用課整備部門文化財調査官）
	内田 和典（北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課専門主任）

4. 第6章第4節第1項1.「デザインに関する統一コンセプト」は、史跡カリンバ遺跡整備基本計画策定委員会の大萱委員による草稿を事務局が編集したものである。

5. 事務局体制（令和4・5年度）

恵庭市教育委員会

教育長	岩渕 隆
教育部長	竹内 春実（令和4年度）、狩野 洋一（令和5年度）
教育部次長	大嶋 克幸
郷土資料館長	高橋 光男（令和4年度）、高野 隆司（令和5年度）
郷土資料館主査・学芸員	長町 章弘（事業担当者）
郷土資料館主任・学芸員	鈴木 将太
郷土資料館主事・学芸員	杉浦 正和

目 次

<本文目次>

第1章 計画の枠組み	1	第2項 保存管理の方法	35
第1節 計画の目的	1	1. 史跡指定地	35
第2節 対象範囲	2	2. 史跡周辺地区	35
第3節 整備事業の推進について	3	第3項 現状変更等の取扱い基準	36
第2章 史跡指定地の状況	4	1. 史跡指定地	36
第3章 保存に至る経緯	5	2. 史跡周辺地区	36
第4章 史跡カリンバ遺跡の概要と周辺環境	6	第4項 障害物等の取扱い	37
第1節 発掘調査の概要	6	1. 史跡指定地	37
第1項 札幌大学の調査	6	2. 史跡周辺地区	37
第2項 団地中央通地区の調査	6	第5項 アクセスルートにおける案内標識等の整備	37
第3項 詳細分布調査	7	第2節 市民ワークショップによる意見集約	38
第2節 史跡指定書及び官報告示の内容	15	第1項 集約方法	38
第3節 重要文化財指定書及び官報告示の内容	16	第2項 集約結果	38
第4節 主な遺構と遺物	17	1. 基本的事項	38
第1項 団地中央通地区（段丘面）	17	2. 活用	38
1. 重要文化財が出土した大型合葬墓	17	3. 博物館施設	38
第2項 東地区・西地区（段丘面）	23	4. 史跡公園	39
第3項 北地区（低地面）	23	5. 市道団地中央通	39
第5節 周辺環境	30	第3節 整備基本構想	40
第6節 景観	32	第1項 整備・活用の意義	40
第5章 整備の方向性	34	第2項 整備・活用の目的・基本理念	40
第1節 保存管理計画	34	第3項 整備・活用の基本的な考え方、及びその手法の概略	40
第1項 基本方針	34	1. 調査研究	40
1. 現状把握	34	2. 活用	40
2. 保存管理の基本方針	34	3. 自然景観	41
		4. ゾーニング	41
		第4項 整備・活用上の課題	41
		第6章 整備基本計画	42
		第1節 はじめに	42

第2節 史跡指定地及び史跡周辺地区の現況……………	44	第5項 史跡周辺地区における個別事項……………	58
第1項 概況……………	44	1. 北東側周辺地区（カリンバ自然公園）……………	58
第2項 史跡指定地の現況……………	44	2. その他地区……………	59
1. 東地区……………	44	第5節 施設計画……………	62
2. 西地区……………	44	第1項 史跡指定地……………	62
3. 北地区……………	44	1. 遺構解説板……………	62
第3項 史跡周辺地区の現況……………	45	第2項 史跡関連用地……………	64
1. 南西側周辺地区①……………	45	1. ガイダンス施設……………	64
2. 南西側周辺地区②……………	46	2. 埋蔵文化財センター……………	70
3. 南東側周辺地区……………	46	3. 体験工房施設……………	71
4. 北東側周辺地区……………	46	4. 屋外トイレ……………	72
第3節 整備項目の概要……………	46	第6節 運営及び体制等について……………	72
第1項 遺跡の保護……………	46	第1項 方針……………	72
第2項 景観整備……………	46	第2項 地域住民及び利用者の参画……………	73
第3項 保存・学習、調査・研究……………	46	第3項 縄文を軸とした広域的な連携……………	73
第4項 付属施設……………	46	第4項 事業推進のための組織体制……………	73
第5項 サイン……………	47	第7節 活用計画……………	73
第4節 整備計画……………	47	第1項 基本方針……………	73
第1項 全体方針……………	47	第2項 利活用のための整備……………	74
1. デザインに関する統一コンセプト……………	47	第3項 普及・啓発……………	74
第2項 史跡指定地及び史跡周辺地区における共通事項……………	48	第4項 地域住民……………	74
1. 遺跡の保護……………	48	第5項 利活用計画……………	74
2. 景観整備……………	48	1. 縄文祭り、体験学習会、特別展、講演会、出前講座等各種イベントの実施……………	74
3. 保存・学習、調査・研究……………	49	2. 学校教育での活用……………	74
4. 付属施設……………	50	3. 市民による史跡活用イベントの企画・運営や、史跡保護活動支援……………	74
5. サイン……………	51	第6項 ネットワークの構築……………	75
第3項 史跡指定地における個別事項……………	52	第8節 整備事業の進め方について……………	76
1. 東地区……………	52	引用・参考文献……………	80
2. 西地区……………	53		
3. 北地区……………	53		
第4項 史跡関連用地における個別事項……………	57		
1. 南西側周辺地区①……………	57		

<表目次>

表 1	史跡カリンバ遺跡 史跡指定までの調査経過概要	5
表 2	団地中央通地区における縄文時代後期後葉の土坑墓副葬品一覧	20
表 3	重要文化財一覧	20
表 4	整備項目一覧 (1)	60
表 5	整備項目一覧 (2)	61
表 6	ガイダンス施設各室一覧	65
表 7	体験工房施設各室一覧	72
表 8	屋外トイレ一覧	72
表 9	年次計画	77

<挿図目次>

図 1	基本計画の対象範囲	2
図 2	史跡指定地と周辺の地形	4
図 3	史跡カリンバ遺跡と発掘調査区	7
図 4	史跡カリンバ遺跡 遺構位置図	8
図 5	史跡カリンバ遺跡 縄文時代後期中葉の遺構位置図	9
図 6	史跡カリンバ遺跡 縄文時代後期後葉の遺構位置図	10
図 7	史跡カリンバ遺跡 縄文時代晩期前葉の遺構位置図	11
図 8	史跡カリンバ遺跡 縄文時代晩期後葉の遺構位置図	12
図 9	史跡カリンバ遺跡 擦文時代の遺構位置図	13
図 10	史跡カリンバ遺跡 アイヌ文化期の遺構位置図	14
図 11	団地中央通地区の遺構位置図	18
図 12	東地区の遺構位置図	24
図 13	西地区と北地区の遺構位置図	25
図 14	北地区の遺構・遺物 (TR-147～151)	28
図 15	北地区の遺構・遺物 (TR-153)	29
図 16	史跡カリンバ遺跡の位置とアクセス	30
図 17	史跡カリンバ遺跡周辺の土地利用計画	31

図 18	地区区分とゾーニング計画	43
図 19	史跡指定地と周辺地区の現況	45
図 20	遺構解説板位置図	52
図 21	解説板を設置する縄文後期後葉の土坑墓群と竪穴住居跡	62
図 22	解説板を設置する縄文晩期前葉の竪穴住居跡	62
図 23	解説板を設置する擦文前期の竪穴住居跡	63
図 24	解説板を設置するアイヌ文化期のチャシ跡	63
図 25	解説板を設置する縄文後期後葉から晩期前葉の作業・生活空間	64
図 26	ガイダンス施設イメージ図	64
図 27	展示室イメージ図	65
図 28	大型合葬墓展示イメージ図と副葬品出土状況	66
図 29	体験工房施設イメージ図	72
図 30	ネットワーク概念図	75
図 31	史跡カリンバ遺跡整備構想イメージ図 (短期計画)	78
図 32	史跡カリンバ遺跡整備構想イメージ図 (長期計画)	79

<図版目次>

図版 1	史跡カリンバ遺跡空撮	1
図版 2	土坑墓群の検出状況	3
図版 3	団地中央通地区の主な土坑墓の副葬品出土状況	19
図版 4	重要文化財 (漆製品の一部)	21
図版 5	重要文化財他 (玉類、縄文土器)	22
図版 6	東地区の遺構・遺物	26
図版 7	西地区の遺構・遺物	27
図版 8	遺跡の景観 (1)	32
図版 9	遺跡の景観 (2)	33
図版 10	北地区の景観	54
図版 11	北地区の草花	55